

<p>2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本がん看護学会教育・研究活動委員会委員 ・ 日本がん看護学会代議員 ・ 日本がん看護学会教育・研究活動委員会委員 ・ 日本緩和医療学会専門的緩和ケア推進委員会 緩和ケアチーム活動の手引き改訂作業部会 ・ 日本緩和医療学会代議員 ・ 日本臨床腫瘍学会 厚生労働省医学事業「がんのゲノム医療従事者研修」委員 	<p>2007年～2015年 2016年～2017年 2019年～2020年 2011年～2013年 2012年～2013年 2017年～2019年</p>	
--	--	--

研究業績等に関する事項

著書名, 報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
<p>(著書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ がん看護学 ・ 看護学テキスト NICE 緩和ケア ・ 専門家を目指す人のための緩和医療学 ・ 一般病棟でできる がん患者の見取りのケア改訂版 <p style="text-align: right;">他</p>	<p>共著 共著 共著 共著</p>	<p>2018年 2011年 2014年 2015年</p>	<p>ヌーヴェルヒロカワ 南江堂 南江堂 日本看護協会出版会</p>	<p>第1章 3. チーム医療の提供 P. 25～29 第4章 1. 倫理原則にそったがん看護の課題 P. 112～115 第17章 1. リーダーシップ P. 392～394 第IV章 事例で学ぶ緩和ケアの実際 2. 事例②セルフケアを促す 一患者が自分でも症状緩和を図れると感じられるようなかかわり (p. 198～p. 201) 第II章 主要な症状のアセスメントとマネジメント 4. 食欲不振 (p. 97～p. 105) 14. 下部尿路症状 (p. 180～p. 187) 15. 乏尿・無尿 (p. 188～p. 195) 16. 血尿 (p. 196～p. 201) 第3章 見取りのケア Q&A ⑦家族をめぐる問題 3. 患者への愛情が強くて目線が怖い家族への対応 (p.179～p.183) 7. 臨終に間に合わなかった家族への対応 (p.198～p.202)</p>
<p>(報告書等)</p>				

学術論文 学会発表等の題名	発表者名	発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等
(学術論文) ・多職種多施設緩和ケアテレビカンファレンスにおけるがん看護専門看護師の役割 ・慢性疼痛の診療にかかわる医療者育成の展望「三重大学・鈴鹿医療科学大学合同 慢性疼痛医療者育成プログラム」 他	中村喜美子、村木明美、大市三鈴、辻川真弓、大西和子 中村喜美子、辻川真弓、上條史絵、丸山淳子、大井一弥、鎮西康雄、横地歩、丸山一男、島岡要	鈴鹿医療科学大学紀要第 24 巻 2017 P.115～123 日本運動器疼痛学会誌 11 巻 2 号 2019
(学会発表等) ・「緩和ケア活動の実態調査～看護師の抱える問題と求める支援」 ・「三重県内 7 病院を結んだ多職種緩和ケアテレビカンファレンスの評価と課題 ―その 1 量的検討―」 ・慢性疼痛チーム医療を推進するリーダーの育成 ・The Roles of Oncology Certified Nurse Specialists in the Interdisciplinary Teleconference for Cancer Palliative Care 他	中村喜美子 村木明美 辻川真弓 中瀬一則 辻川真弓 坂口美和 中村喜美子 村木明美ほか 中村喜美子 鎮西康雄 大井一弥 辻川真弓ほか 中村喜美子 村木明美 辻川真弓 大西和子ほか	第 17 回日本緩和医療学会学術大会 2012 年 第 21 回日本緩和医療学会学術大会 2016 年 第 23 回日本緩和医療学会学術大会 2018 年 International Conference on Cancer Nursing 2018
(その他)		